

| | | | |
|------------------|---|-----------------------------|---|
| 派遣受入団体等 | 都道府県名 | 奈良県 | |
| | 団体名 | 広陵町 | |
| 支援の方法 | 課題対応アドバイス事業 | | |
| 本事業を活用しようと考えた目的 | <p>各市町で公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の統廃合等を検討する中、稼働率の低い施設等について有効活用することを目的として、令和元年度に大和高田市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、広陵町及び河合町の7市町で構成する「公共施設に関する中和・西和広域連携検討会」（以下「検討会」という。）を発足させ、広域での公共施設の共同利用の検討を開始した。</p> <p>令和2年度には、総務省の「新たな広域連携促進事業」にて、共同利用を実現するための整理を行い、共同利用に向けた検討を進めてきた。しかし、効果的・効率的な共同利用を進めるため、各市町で異なる予約方法及び利用料金のあり方並びに各市町での稼働率のバラツキ等の課題を解決するため、本事業を活用した。</p> | | |
| スケジュール、主なアドバイス内容 | アドバイスを求めた項目 | 広域利用施設の選定、共通予約システムの機能、協定書案等 | |
| | 1回目 | 8月10日 | 「新たな広域連携促進事業」により把握した課題解決に向けたアプローチ方法や広域連携の重要性等に関して、アドバイザーから各市町の首長向けに報告いただいた。 |
| | 2回目 | 10月28日 | 共通予約システムや共同利用に関する協定書の締結に向けて、広域利用施設の選定も含めて、アドバイザーから助言を得た。 |
| | 3回目 | 11月19日 | 広域連携に関する協定書案や予約方法について、各市町から意見を集約した内容について協議した。アドバイザーからは共通予約システム及び広域利用を実践するための具体的な方法についてご意見をいただいた。 |
| | 4回目 | 1月20日 | 広域での公共施設の共同利用に向け、各市町からの質問や意見に対する的確な助言や、本格運用に向けた助言をいただいた。予約システムを統合するための方策や広域連携する施設の表示方法やスケジュール調整までの助言をいただいた。 |
| | 5回目 | | |
| | 6回目 | | |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>本事業を活用した取組の進捗・成果※</p> | <p>令和2年度に総務省の「新たな広域連携促進事業」にて施設の共同利用を実現するための諸条件の整理を行っており、アドバイザーから広域連携に関する重要性や事業実績を首長に報告いただくことで実現に向けて各市町で共通の認識を図ることができた。</p> <p>その後の「公共施設に関する中和・西和広域連携検討会」においては、共同利用に対する課題に対して、客観的で専門的なアドバイスを得ることができ、結果、本格的な運用に向けて、実証実験のための協定書の骨子案の作成や、共同利用施設の確定などの具体的な成果が上がった。また、アドバイザーの適切な助言や事後フォローからスケジュール感を持って取り組むことができ、各市町の足並みを揃えることができた。</p> |
| <p>本事業を活用して良かった点</p> | <p>各市町における公共施設のあり方について、深く議論することができ、統一的な視点による検討を実施することができた。また、令和4年度において広域（7市町）での公共施設の共同利用の実証実験の実現につながった。</p> |
| <p>今後本事業の活用を検討する団体へのアドバイス</p> | <p>ボトムアップ型の広域連携手法については、施策立案段階での意思決定が難しい点が挙げられる。そのような場合においては、第三者に客観的な視点でアドバイスをいただくことで、意思決定の根拠付けや速やかな事務進行が期待できるのではないかと考える。</p> |